

山口学芸大学・山口芸術短期大学ハラスメント防止ガイドライン

ハラスメント防止対策委員会

▶ ハラスメント防止ガイドラインの目的

このガイドラインは、山口学芸大学及び山口芸術短期大学（以下「本学」という。）におけるハラスメントの防止及び排除のために、それに起因する問題が生じた場合、速やかに適切な対応ができるよう必要な事項を定め、教職員及び学生の利益の保護、就学上、就業上の環境維持を図ることを目的とします。

▶ ハラスメント防止ガイドラインの対象

このガイドラインは本学に在籍するすべての教職員及び学生が対象となります。

▶ ハラスメントとは

本学で定めるハラスメントとは、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント及びその他のハラスメントをいいます。

◆ セクシュアル・ハラスメントとは、

就労、修学、教育又は研究上の関係を利用し、相手の意に反する性的な言動等により、相手を不快にさせる不適切な発言又は行動をいう。他の者を不快にさせる性的性質の言動をいい、例として次のようなものをいう。

◆ アカデミック・ハラスメントとは、

職務上の地位又は権限等の優位性を不当に利用して、職員又は学生等に対し、適正な範囲を超えた教育研究上の不適切な発言又は行動をいう。

◆ パワー・ハラスメントとは、

自らの地位、権限又は事実上の上下関係を不当に利用して、その指示、指導等を受ける者の就労意欲、就学意欲及び教育研究環境等を阻害又は悪化させる結果となる不適切な発言又は行動をいう。（ア）相手の人格を否定するような暴言を吐くこと。

◆ マタニティ・ハラスメントとは、

妊娠、出産又は育児を理由として、就労意欲、就学意欲及び教育研究環境等を阻害又は悪化させる結果となる不適切な発言又は行動をいう。

◆ その他のハラスメントとは、

誹謗、中傷、飲酒の強要等により人権を侵害して、就労意欲、就学意欲及び教育研究環境を阻害又は悪化させる結果となる不適切な発言又は行動をいう。

➤ **ハラスメント防止のためにどんなことに注意をすればよいか**

お互いの人格を尊重しあうことが一番大切で、相手の立場となって考えることが重要です。言動の受け止め方は、性別や、立場、個人によって差があります。その言動がハラスメントにあたるか又はそうでないかについては、それを受け止める相手の判断で、この程度のことは相手も許容するだろうという思い込みは避けなければなりません。自分の言動に相手が少しでも不快な様子を見せるようなら、その言動はすぐに止めなければなりません。

➤ **ハラスメントを受けたと感じたら**

相手の言動等に対して嫌だと思ったら相手にハッキリと自分の意志を伝え、その時の状況（会話や電話の内容、周囲の状況等できるだけ詳しく）を記録しておきます。

そして、ひとりで悩まず、両親や教員、学内相談員など信頼のおける人に相談してください。